Press Release

2023 年 10 月 20 日

日本イーライリリー株式会社
〒651-0086
神戸市中央区磯上通 5-1-28
www.lilly.co.jp

EL23-35

「マンジャロ®」と「オンボー®」が
「Best New Drug Award」ファイナリストに選出
サイトライン・ファーマインテリジェンス・アワード・ジャパン 2023 にて

日本イーライリリー株式会社（本社：兵庫県神戸市、代表取締役社長：シモーネ・トムセン、以下、日本イーライリリー）は、同社が開発した持続性GIP/GLP-1受容体作動薬「マンジャロ®」（一般名：チルゼパチド、以下「マンジャロ」）、およびヒト化抗ヒト IL-23p19 モノクローナル抗体「オンボー®」（一般名：ミリキズマブ（遺伝子組換え）、以下「オンボー」）が、サイトライン・ファーマインテリジェンス・アワード・ジャパン2023にて「Best New Drug Award」ファイナリストに選出されたことをお知らせいたします。

※詳細はウェブサイトをご覧ください。サイトライン・ファーマインテリジェンス・アワード・ジャパン 2023 | サイトライン (citeline.com)

マンジャロは、2型糖尿病の治療薬として日本では2022年9月に承認された、世界初の持続性GIP/GLP-1受容体作動薬です。グルコース依存性インスリン分泌刺激ポリペプチド（GIP）とグルカゴン様ペプチド-1（GLP-1）の二つの受容体に作用します。本剤の構造は、天然GIPペプチド配列をベースとした単一分子ですが、GLP-1受容体にも結合するように改変されており、選択的に長時間作用し血糖値を改善します。

オンボーは、世界で初めて潰瘍性大腸炎の治療薬として、日本では2023年3月に承認された抗IL-23p19モノクローナル抗体製剤で、大腸粘膜の炎症に関与するサイトカインであるIL-23のp19サブユニットを標的としたヒト化IgG4モノクローナル抗体です。IL-23とIL-12の共通のサブユニットであるp40には結合しないため、IL-23とIL-23受容体との相互作用のみを阻害して炎症性サイトカインの発生を抑えます。

糖尿病・成長ホルモン事業本部　事業本部長のゲイリー・マイルズは、今回のマンジャロのファイナリスト選出について次のように述べています。「この度のマンジャロのファイナリスト選出を大変嬉しく思います。未だ多くの2型糖尿病とともに歩む方々が治療目標値を達成できていない現状があります。日本イーライリリーは、新しいクラスの糖尿病治療の選択肢としてマンジャロを必要とする方々へお届けするべく、今後も尽力してまいります。」

バイオ・医薬事業本部 事業本部長のダニエル・ビネットは、今回のオンボーのファイナリスト選出について次のように述べています。「この度のオンボーのファイナリスト選出を大変喜ばしく思います。今後もオンボーを通して、患者さんのQOLに影響を及ぼす症状の一つである便意切迫感を含め、潰瘍性大腸炎に苦しむ患者さんのよりよい生活への一助となれるよう、尽力してまいります。」

日本イーライリリーは、「世界中の人々のより豊かな人生のため、革新的医薬品に思いやりを込めて」をOUR PURPOSE（使命）とするグローバルな研究開発型製薬会社として、病と共に生きる人たちの真のニーズに応える高品質な医薬品を提供することに尽力してきました。これからも、未だ満たされていないアンメットニーズに応え、一人でも多くの方々のQOL（生活の質）の向上に貢献すべく、邁進してまいります。

以上

サイトライン・ファーマインテリジェンス・アワード・ジャパンについて
「サイトライン・ファーマインテリジェンス・アワード・ジャパン」は、イギリスで 18 年続き、世界的に知られるスクリプ・アワード（Scrip Awards）の日本版であり、 日本の製薬企業およびバイオテク企業による卓越性と革新性を表彰し、世界のヘルスケア産業における日本の 重要な役割に光を当てます。前年の業績をともに振り返り、医薬品産業の未来を切り開く企業と個人を業界全 体で称えることを目的としています。

日本イーライリリーについて
日本イーライリリー株式会社は、米国イーライリリー・アンド・カンパニーの日本法人です。人々がより長く、より健康で、充実した生活を実現できるよう、革新的な医薬品の開発・製造・輸入・販売を通じ、がん、糖尿病、筋骨格系疾患、中枢神経系疾患、自己免疫疾患、成長障害、疼痛、などの領域で日本の医療に貢献しています。詳細はウェブサイトをご覧ください。https://www.lilly.co.jp